

平成17年9月分および平成17年度上期 徳島県の販売電力量について

需要の概要

【9月分】

平成17年9月の販売電力量は、5億3千5百万ワット時、前年比100.2%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、前年比97.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、9月の気温が高かったことによる冷房需要の増加などから、前年比104.2%となった。

産業用の「大口電力」は、機械、紙・パルプにおける生産増などから、前年比102.6%となった。
(35カ月連続のプラス)

【上期】

平成17年度上期の販売電力量は、32億5百万ワット時、前年比102.8%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、前年に引き続き夏場の気温が高めに推移したことなどから、前年比100.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の理由から、前年比101.8%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼、機械、紙・パルプにおける生産増などから、前年比108.1%となった。

需要実績

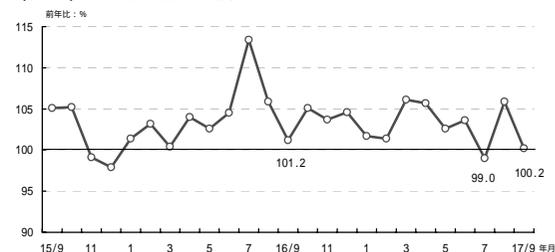
		当月分		上期	
		電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	166	97.4	925	100.5
	電 力	48	95.5	256	96.7
	計	214	96.9	1,181	99.6
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	110	104.2	628	101.8
	産業用電力	211	101.7	1,396	106.1
	うち大口電力	(168)	(102.6)	(1,140)	(108.1)
計		321	102.5	2,024	104.8
販売電力量計		535	100.2	3,205	102.8

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。特定規模需要以外の需要とは、電灯や低圧電力など低圧で電力を供給している需要で、非自由化対象となる。
2. 17年4月から自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
なお、変更のあった需要区分の前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

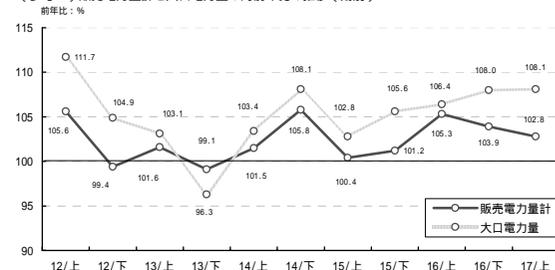
大口電力の主な産業別内訳

	当月分				上期			
	電力量	前年比			電力量	前年比		
		17/9月	17/8月	17/7月		17/上期	16/下期	16/上期
紙・パルプ	18	113.2	120.8	113.2	121	113.6	98.7	108.2
化 学	51	101.0	102.2	94.9	317	100.1	104.3	110.6
鉄 鋼	18	90.8	168.8	170.4	241	125.7	111.0	108.4
機 械	46	107.7	113.6	103.6	225	108.7	115.4	112.0
その他	35	93.2	92.6	96.6	236	91.4	99.0	100.4
合 計	168	102.6	116.5	108.4	1,140	108.1	108.0	106.4

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 販売電力量計と大口電力の前年比の推移(期別)



(参考3) 徳島市平均気温

	17/8月				17/9月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	28.7	28.9	26.3	27.9	27.0	26.1	23.8	25.6
平年差	1.0	1.4	0.8	0.5	1.3	2.1	1.8	1.7
前年差	1.6	1.1	0.8	0.6	1.5	0.2	0.2	0.3

(参考4) 17年度夏季の徳島市平均気温

	7月	8月	9月	7~9月累計
実 績	26.7	27.9	25.6	26.7
平年差	0.4	0.5	1.7	0.8
前年差	1.9	0.6	0.3	1.2